

2028年ロサンゼルスオリンピックを目指して

海外拠点で世界に挑戦する為の活動資金支援のお願い



さかもと ゆうわ

坂本 優和

2006年10月16日生 (16歳)

広島県三原市深町 在住

学校法人山中学園 如水館高等学校 2年

日本自転車連盟所属

BMXレーシング 強化育成選手



@yuwa_sakamoto

FaceBook



プロフィール



さかもと ゆうわ

坂本 優和

2006年10月16日生 (16歳)

広島県三原市深町 在住

学校法人山中学園 如水館高等学校 2年

日本自転車連盟所属

BMXレーシング 強化育成選手

7歳 BMX 競技をスタートさせる。

8歳 県外のコースでも行われる公式戦にも参戦する。

9歳 競技を楽しみながらジャンプなどの技術力も向上する。

10歳 膝の不調から通常の人より半月板が大きいことが判明し手術が必要となる。

11歳 左右両膝の手術を決断しまずは左膝の手術を行う

12歳 左膝のリハビリ後に続いて右膝の手術を行いトータルで14ヵ月のリハビリを行う。

13歳 レースに復帰、1年間慎重にレースに取り組み次年度の世界選手権大会(アメリカ開催)の権利を獲得。

14歳 世界中でCovid-19(コロナウィルス)の蔓延により日本国内・海外でのレースが中止。世界選手権大会(アメリカ開催)も中止され参加出来なかったが全日本選手権(13-14歳カテゴリー)で3位になり次年度の世界選手権大会(オランダ開催)の権利を獲得。

15歳 Covid-19(コロナウィルス)蔓延の影響を受け前年度同様に各地の大会が中止、世界選手権大会(オランダ開催)も参加出来ず。限られた国内大会の成績により次年度の世界選手権大会(フランス大会)の権利を獲得。

16歳 世界的に大会も開催されるようになり世界選手権大会(フランス開催)に初参加し海外のレースを経験し貴重な体験が出来たと同時に海外でのレース経験値不足とレーステクニックなどの差を痛感した。(81位/138人)

2022年シーズンは、日本国内レースも全戦参加し開幕戦では優勝、全日本選手権は僅差で2位、その他大会も僅差のレースが展開され総合成績でも2位という結果でシーズンを終了した。

BMXレーシングという競技について

BMXレースは8人で同時に約400m前後の長さの専用コースを走りゴール着順を争い、トーナメントを勝ち上がっていき順位を決める競技です。海外のプロレースでは8mの高さのあるスタートビルから8人一斉に最高速でスタートし大きなセクション（コブ）を越えていくようなエキサイティングな競技です。また、BMXレースはオリンピック競技であり日本からも北京オリンピック（阪本章史選手）、リオオリンピックと東京オリンピック（長迫吉拓選手）の出場実績があります。



↑埼玉県秩父市にある BMX レース専用コース

広島、岡山、大阪、新潟、埼玉、千葉、茨城、岩手と日本各地の専用コースでレースは行われています。

主な戦績

2020年～2021年 14歳～15歳

第36回全日本選手権（大阪）3位

2020-2021 JBMXF大東建託シリーズ第1戦（岡山）3位

2020-2021 JBMXF大東建託シリーズ第2戦（岡山）3位

2022年 16歳

2022 JBMXF大東建託シリーズ第1戦（岡山）1位

2022 JBMXF大東建託シリーズ第3戦（新潟）2位

2022 JBMXF大東建託シリーズ第5戦（大阪）2位

2022 JBMXF大東建託シリーズ第6戦（茨城）2位

2022 JBMXF大東建託シリーズカテゴリー総合順位2位

第38回全日本選手権（大阪）2位

2022 UCI BMXレース 世界選手権（フランス大会）

16歳クラス24インチクルーザー 30位/100人

20インチ 81位/138人

2023 フランス サリアン 国際レース 1/8決勝

ベルギー ゴルダール1/16決勝

アジア選手権大会（フィリピン） 3位

JBMXF 大東建託シリーズ 広島大会 3位

2023年2月～単身フランスへ



2022年シーズンを総合2位で終了し2023年度からオリンピックを目指す為のチャンピオンシップカテゴリへ挑戦することを決意しました。

BMXレースの最高カテゴリであるチャンピオンシップクラスは主にUCI（世界自転車連盟）が海外各地で主催する国際大会（ワールドカップや世界選手権大会など）にエントリーしオリンピック出場条件の獲得を目標とする競技活動が中心となり日本国内より高い海外の競技レベルで戦うこととなります。

2022年世界選手権フランス大会の経験から自分の競技レベルを海外でも戦えるレベルにする必要があると実感した為、日本のレースオフシーズン（12月～4月初旬まで）に単身フランスへ渡る計画を立てました。インターネット検索をしフランスのクラブチームへメールを送り自分をチームにトレーニング滞在させてくれるクラブを探しフランスのブザンソンという地域にあるクラブチームへ単身参加する交渉に成功しました。

交渉と並行して2ヶ月の滞在計画予算は地域企業などに父親と共に支援をお願いして回り海外活動資金の一部を支えていただきました。

2月、日本からパリへは飛行機で向かいパリからブザンソンへはTGV（新幹線）を乗り継ぎクラブに合流し言葉は不自由でしたがチームメイトと言語交流しながらヨーロッパ各地のレースを転戦（イタリア、フランス、スイス、ベルギー）し4月末に帰国。

ヨーロッパのレースでは体格差やパワー、コースの大きさ等日本の環境では味わえない貴重な経験を積み上げることが出来ました。

BMXレーシングは自転車の格闘技と言われるほど選手同士の接触が多い競技ですがヨーロッパでは練習を含めて8転倒し打撲や擦り傷は当たり前で自転車やヘルメットなどの機材損傷も激しい環境でトレーニングを行い自分が目指すロサンゼルスオリンピックへ出場するためにはこの環境に常に身を置き海外のレーススキルを手に入れる必要があると確信しました。

2023年7月

国内レースの初戦は全日本選手権大会でしたがファイナルまで勝ち進むも第一ストレーターのポジション争いで接触転倒し6位入賞と自身が目標としていた優勝という結果には及ばなかったが海外で積み上げた積極的に出る姿勢からの接触であった。結果としては残念だったが成長が見える展開もあったので経験として良かったです。

アジア選手権大会から帰国した翌週に開催された広島大会では3位となりチャンピオンシップ最年少で参加しても安定した結果を出せるようになってきています。



日本代表（ナショナルチーム）としてアジア選手権に出場

初めてのナショナルチームの一員としての大会。フィリピン タガイタイで行われたアジア選手権大会、この大会は日本国としてパリ五輪の出場国枠をかけた大陸選手権だった為、その舞台に参加出来た事は自分にとって大変貴重な経験となりました。フランスへ単身渡航していたおかげで海外レースの雰囲気にも飲まれることなく表彰台3位の成績をおさめました。来年度はアジアチャンピオンになれるようにトレーニングを積み重ねていきたいです。



2023年8月 市長表敬訪問

アジア大会3位の成績を市長表敬訪問し報告しました。

三原市にはBMXのコースも練習環境もないので競技を知っていただけ是非とも活動を応援したいと市長からお声かけいただき大変貴重な時間となりました。

また新聞や三原テレビなどの取材も取り上げていただいたので自分が一生懸命取り組んでいる競技をメディアを通じて多くの人に発信出来て良かったです。



2028年ロサンゼルスオリンピックに向けた活動について



読売新聞と中国新聞に掲載していただきました。

BMXレース競技は5歳から50歳オーバーの選手が高さ5mのスタートヒルからスタートしアマチュアセクションという比較的小さなジャンプ構成のコースでレースを行う年齢別チャレンジクラスと17歳から挑戦出来る高さ8mのタートヒルからスタートしプロセクションという大きなジャンプ構成のコースでレースが行われるチャンピオンシップクラスがあり、チャンピオンシップクラスはワールドカップや世界選手権、日本国がオリンピック出場枠を取得するための国際レースなど、日本を代表して海外で戦う機会が多くあります。

私は今年度からチャンピオンシップクラスとなり日本代表選手としてオリンピック出場に必要な国別代表枠や出場権利を獲得する為のUCI（国際自転車連盟）主催のレースに参戦する機会を取得し日本代表選手として日本自転車連盟に招集され、パリ五輪に向けたTeam Japanの最年少選手として2024パリオリンピックの日本国の出場枠がかかっているようなアジア選手権に参戦し3位という成績を納めました。

来年度パリ五輪閉幕と共に2028年ロサンゼルスオリンピック出場をかけた戦いも始まります。

BMXレースカテゴリーについての説明

BMXレースは5歳から公式レースに参加でき（海外の公式戦は7歳から）年長者では50歳オーバーと幅広い年齢層で楽しむことができます。

レースには5歳から50歳オーバーの年齢別チャレンジクラスと17歳から始まるチャンピオンシップクラスと17歳以降は目指す競技レベルにより、大きく分類して2つのカテゴリーに分かれます。

チャンピオンシップクラスは競技レベルも最高峰、主に海外でワールドカップや世界選手権、オリンピックなどで日本代表として戦います。

私は現在ジュニアエリートとして日本代表選手として日本のオリンピック出場枠を獲得する為のレースへ参戦したり私自身オリンピックへ出場する為に日々トレーニングを積み重ね努力しております。

チャレンジクラス（5歳～50歳オーバー）

※初心者からBMXレーシングを楽しめる年齢別クラス



17歳からは競技レベルによってチャンピオンシップクラス（ジュニア、U23、エリート）へ挑戦出来る。

チャンピオンシップクラス（17歳～）

※主に海外でワールドカップや世界選手権、オリンピックなどで日本代表として戦う。

17歳～18歳 ジュニアカテゴリー

19歳～22歳 U23カテゴリー

23歳～ エリートカテゴリー

ロサンゼルスオリンピック出場までのタイムチャート

2023年 チャンピオンシップ（ジュニア1年目 17歳）

単身フランスのクラブチームに2ヶ月所属しヨーロッパ各地を転戦
国内シリーズ戦チャンピオンシップカテゴリー最年少で表彰台を安定して獲得
ナショナルチームとしてアジア選手権出場 ジュニアカテゴリー3位獲得

2024年 チャンピオンシップ（ジュニア2年目 18歳）

2月～5月までフランスのクラブチームでヨーロッパのレースを転戦
全日本選手権優勝
ナショナルチームとしてアジア選手権出場 ジュニアカテゴリー優勝
ナショナルチームとして世界選手権出場 ジュニアカテゴリー決勝進出
海外のレースへ積極的に参戦し経験値を積み上げる

2025年 チャンピオンシップ（U23 19歳）

1年間の留学ビザを取得
フランスに居住しクラブチームでトレーニングとヨーロッパのレースを転戦
全日本選手権U23カテゴリー優勝
ナショナルチームとして世界選手権出場 U23 決勝進出
ワールドカップにもナショナルチームとして招集される

2026年 チャンピオンシップ（U23 20歳）

前年度と継続して1年間の留学ビザを取得
フランスに居住しクラブチームでトレーニングとヨーロッパのレースを転戦
全日本選手権U23カテゴリー優勝
ナショナルチームとして世界選手権出場 U23 優勝
ワールドカップを転戦しエリートカテゴリーに参戦し1/4決勝進出を目指す

2027年 チャンピオンシップ (U23 21歳)

次年度のロサンゼルスオリンピック出場国枠を巡り選考レース激化、前年度と同様に継続して1年間の留学ビザを取得
フランスに居住しクラブチームでトレーニングとヨーロッパのレースを転戦
全日本選手権U23カテゴリー優勝
ナショナルチームとしてアジア選手権出場 エリートカテゴリーで参戦し優勝
(ロサンゼルスオリンピック出場を確定させる)
ナショナルチームとして世界選手権出場 エリートカテゴリー 1/2決勝進出を目指す

ワールドカップを転戦しエリートカテゴリーに参戦し1/2 決勝進出を目指す

2028年 チャンピオンシップ (U23 22歳)

前年度のアジア選手権優勝と国内選手個人ポイント1位でロサンゼルスオリンピック出場権利を獲得。

トレーニングを継続し**ロサンゼルスオリンピック出場 金メダル獲得**

目指すべきオリンピックと現実的な活動資金不足問題

私は来年度高校3年生になり将来の岐路に立たされますが今自分が最大限努力出来ることは幼い頃から継続してきたBMXレーシングでオリンピックへ出場し金メダルを目指すという道へ進むべきだと考えております。

2023年 16歳で単身フランスに渡り海外レースの経験値を沢山得たことにより今回最年少で参加となったアジア選手権大会でも表彰台3位という結果を残すことが出来ました。

パリ五輪が閉幕する高校3年生半ばからロサンゼルスオリンピックが開催される22歳まで日本代表として競技に専念しロサンゼルスオリンピックへ出場し金メダルを獲得を目標に全力で活動したいと考えています。

しかし、BMXレーシングは日本ではマイナー競技であり連盟も予算が少なく海外での大会など海外(ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリア)に参加すれば自己負担金も発生してしまう状況です。

海外では競技人口も多く沢山の選手が参加するような大会も頻りに開催されており競技レベルはどんどん進化していています。
私とその状況で日本国としてオリンピックに出場し金メダルを取得するには今の段階から海外に身を置きトレーニングや大会へ積極的に参加する必要があります。

今年度はじめに単身フランスのクラブチームへ参加しトレーニングとヨーロッパでのレースを転戦したので拠点は確保出来ましたが、やはり海外は為替や物価上昇の影響で個人の資金では安定した海外拠点での競技生活は不可能と実感しました。
(2ヶ月の滞在費、レース参戦、機材更新などで約150万円)

このまま海外拠点で経験値を積むことがロサンゼルスオリンピック金メダルに向けての**必須条件**です。

そのためには活動資金を安定して(2028年まで)確保することが必要ですので支援金の協力をお願いします。

日本国として出場枠を取得することも重要ですが、出場権利を得るためには個人競技なので個人で競技力を向上させる必要があります。フランスへ単身渡り、その成果もあって初参戦したアジア選手権でも3位という結果も残せており、継続したトレーニングにより今後の可能性はさらにながっていくと確信しています。

※オリンピック出場国枠選考条件

出場国枠は国別ポイントランキングで10位以内

※ポイント取得出来るレースと条件

2027年全日本選手権大会

2027年、2028年世界選手権大会 14位以内

2027年アジア選手権大会 優勝

2027年、2028年国際大会（HCレベル）3位以内

※オリンピック出場選手選考条件

2027年、2028年世界選手権大会 優勝

2027年アジア選手権大会 優勝

2027～2028年UCI個人ポイントランキング日本国内一位

オリンピック出場金メダル獲得を目指すには、早い段階で海外に挑戦していき実力をつけていく必要があります。

日本自転車連盟はオリンピック出場に向けて海外レースへ私たちを指名派遣してくれますが、あくまでBMXレースは個人競技なので自主活動により自分のポテンシャルを引き上げていかないとオリンピック出場選手にはなれません。

しかし海外に渡航しレースで多くの実績を出す為には海外に長く滞在しレースに積極的に参加していく必要があるのですが、物価上昇や為替の影響で自費捻出のみでは海外に挑戦することも出来ません。

そこで私はこれからロサンゼルスオリンピックまでの約5年間を支援していただける方を探しています。法人であれば広告宣伝費などの科目で月々定額でもお力添えしていただけると非常にありがたく思います。今後は高校2年生から来年度は高校3年生となっていきBMXレーサーとしても世界レベルを目指し海外遠征を沢山行い競技レベルを上昇させていきたいので何卒応援よろしくお願いします。

支援目標金額について

目標金額 1,000万円

安定した海外競技活動を行う為には継続した支援金の供給が必要な為、支援者様に無理のない出資方法で支援していただければと考えております。

目標金額も大きいので一括支給ではなくて経費範囲（毎月数万円～）の12か月とかでも支援していただけたら大変ありがたいです。
（経費科目は広告宣伝費・寄付など）

詳細はご相談しながら、目標としているロサンゼルスオリンピックまでを目指したいので是非とも応援よろしくをお願いします。

支援者様にはレースジャージへ企業ロゴのプリント、大会報告、SNSでのタグ付けなど最大限のアピールをさせていただきます。

私は今年度からジュニアカテゴリーとなり世界で活躍出来る選手になるために昨年秋からスポンサー活動を行い私の夢を支援していただきフランスへ単身渡り貴重な経験を積んで帰国出来ました。

ジュニアカテゴリー1年目からアジア選手権大会で3位の実績を出せているのも海外でのトレーニングの成果だと実感しております。

ジュニア2年目の来年度はフランスオリンピックイヤーですが、私の年適正年齢で迎えるオリンピックは22歳で行われるロサンゼルスオリンピックです。

ロサンゼルスオリンピックまでは約5年あります。限られた時間の中で目標に向けてしっかり準備して限界まで挑戦していきますので是非支援協力をよろしくをお願いします。

